

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

【活動組織紹介】

ひじえ 肱江の里を守る会(桑名市)

設 立 2014年(平成26年)
取組面積 田:1,845a 畑:28a
主要施設 開水路:5.4km 農道:1.7km

私たちが活動する地域は、肱江川流域に位置しており、豊富な水資源にも恵まれていることから、水稻を中心とした農業が盛んに営まれています。

しかしながら、将来の農業のことを考えますと、農業者の高齢化や担い手不足など非常に厳しい環境にあります。

地域の農業を持続可能なものとしていくためには、水を確保するための農業用水路を適切に保全管理するなど、農業の有する多面的機能を維持・発揮することが大切であると考えています。

このようなことから、「みんなです・自分たちです」を合言葉に地域住民のみなさんと協力しながら施設の保全管理に取り組んでいます。

その取り組みの一部を紹介させていただきます。

●水路の保全

草刈りや泥上げは基礎的な活動ではありますが、地域農業のためには大切に欠かせない作業になります。

このような活動を通じて、地域の環境に対して一人ひとりが関心を持って行動するという意識も高まっているように感じています。

現在では、活動のことだけでなく地域のことをいろいろ話し合うコミュニケーションの場としての役割も担っています。



●施設の補修

水路等は地域の大切な資源ですので、通水能力を維持できる状態に管理することが大切です。点検・機能診断の結果、補修箇所が見つかった場合は、自分たちでできるものは、「自分たちで・みんなで」補修します。

そうすることで、愛着もわき大切に使用できるようになりました。



●景観形成活動

農村景観の形成には、農業用施設の美化活動が欠かれないことから、農用地を利用して、なの花の植栽を行っています。



●今後の地域について

地域住民の高齢化や過疎化の問題は、多くの地区で抱えている問題だと思いますが、肱江地区においても同様で、今後の活動の継続に影響する課題であると思っています。

担い手と土地所有者との調整を図り、農地の集積・集約化に努めることにより、農地を守っていくことも必要だと思いますし、自分たちの地域は自分たちで守るという意識を地域で共有することが大切であると考えています。